

長期熟成酒の本格製造で 地域のファン拡大と観光誘客

課題

生産量とストックヤードの 不足を解消したい

江戸時代から日本酒製造に携わってきた木下酒造有限会社。平成19年に日本で唯一の外国人杜氏であるイギリス人のフィリップ・ハーパー氏を新たに迎え入れたことを契機に、これまでに蔵付き酵母を利用した酵母無添加・生酛系酒母でつくる「自然仕込シリーズ」や「江戸時代の造りを再現した酒」など挑戦的な酒づくりで新たなファン層を獲得してきた。

しかし、日本酒ブームの沈静化により、売上高維持が課題で、安定した利益確保に向けた生産ラインの革新と作業の省力化促進を行いながら、国内外に向けた営業活動における販促ツールを充実させていくことが急務だった。

支援を求められた京丹後市商工会は、各種経営分析および今後のターゲット分析を行い、新設備の導入と販路拡大を目指した。また、国内外のパンフレット作成提案や展示会等の情報提供、地元催事出展に関する助成なども行い、販路拡大に力を入れたところ、大幅な受注増および利益確保につながった。

ところが、今度は現設備で生産量が追いつかない状況となってしまった。さらにビンテージ市場に本格参入することから、ストックヤードが不足し、経営計画の見直しと新たな設備投資が必要となった。そこで、生産設備のフル稼働に対し受注量に生産量が追いつかない状況の改善と、長期熟成酒市場開拓における製造工程の改善とストックヤード不足の解消のため、新設備導入を目指すことになった。

支援

長期熟成酒の本格的な製造を 可能にした新設備

商工会は、新設備導入の資金獲得のため、経営力向上計画の作成と、ものづくり補助金への申請を提案し、各々について支援を行った。まずは将来の商品主軸として期待している長期熟成酒の製造工程について課題を抽出。ストックヤードのさらなる拡充と冷却作業の見直しと、発がん性が指摘されている「カルバミン酸エチル」への衛生対策実施に向けた検討を行い、改善策の実施に向けた支援を行った。

その結果、長期熟成酒の本格的な製造が可能となったことで平成28年度決算期では試験販売を開始した対象年度決算期に比べて出荷数量2.5倍を達成できた。



同社の日本酒商品

今後は引き続き地域内経済の好循環創出に寄与しつつ、京丹後の食材や魅力を市外・県外へと発信することで京丹後のファンの拡大や観光誘客につなげていくことが期待できる。

また、長期熟成酒事業を主軸として競合先との差別化を図ることで、定番商品の売り上げ占有率の向上や、新たな高級酒開発の取り組みも期待されている。さらに、長期熟成酒事業を拡大・発展していくことで、5年後には年間で約8～10%の売り上げ増の達成を見込んでいる。

支援の経過

期間	支援内容
平成27年4～10月	ヒアリング、地域経済循環型事業の実施サポート
〃	持続化補助金の申請支援、補助事業実施支援
平成29年4～10月	ものづくり補助金の申請支援、事業実施支援
〃	ヒアリング、経営力向上計画の申請支援・認定

会社概要

会社名：木下酒造有限会社
住所：京都府京丹後市久美浜町甲山1512
電話番号：0772-82-0071
URL：<http://www.sake-tamagawa.com/>
代表者名：代表取締役 木下善人
創業年：昭和27年
年間売上高：2億3565万円(平成29年)
従業員数：11名
商工会名・担当者名：京丹後市商工会・岡朋博